

事業概要	LIMEX及びLIMEX製品などの開発、製造、販売	
部署	コーポレート・コミュニケーション本部	
所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座2-7-17 6F	
連絡先	(電話番号)03-3538-6777 (E-mail)s-ishihara@tb-m.com	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	TBMは、LIMEX(ライメックス)という石灰石を主原料とする新素材を開発・製造している。LIMEXの利用促進や普及、使用後の製品を回収・リサイクルするしくみの構築により、資源循環型の持続可能な社会づくりに貢献することを目指す。 環境省ローカルSDGsにおいて、地域の企業や市民、自治体と連携して、LIMEXの利用促進や普及を行い、普段の生活の中で、資源が循環し有効利用される社会を作りたいと考えている。	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	サーキュラーエコノミー
	<p>1. 循環経済の実現に資する新素材</p> <p>LIMEXは、石灰石を含む無機フィラーを50%以上含む新素材で、紙やプラスチックの代替としてさまざまな用途にご利用いただける素材。</p> <p>例えば、一般的なプラスチック製品は石油由来プラスチックで作られているが、LIMEXの場合はプラスチック使用量を削減することができる。これにより、従来の素材に比べて、ライフサイクル全体でCO₂排出量を減らし、温室効果ガスの発生削減に貢献する。LIMEXは、使用後に回収し、アップサイクル*することが可能。地域のなかで利用されたLIMEXをアップサイクルし、再び利用することで資源が循環し、持続可能な社会に役立つ。2016年の製品販売開始以降、これまでに国内5,200社にLIMEXを採用いただいている。</p> <p>(LIMEX 用途)</p> <p>名刺、メニュー表、冊子、地図、横断幕、ポスター、包装容器、レジ袋、ゴミ袋、マスクケース、書類ファイル等 (採用業種)食品製造業、化粧品製造業、自動車製造業、情報通信業、鉄道業、航空運輸業、卸売業(衣服、食料)、銀行業、不動産取引業、宿泊業、飲食店、自治体等 (主な採用企業・団体・イベント等)神奈川県、北九州市、G20大阪サミット、羽田空港、ソフトバンク、メルセデス・ベンツ、セブン銀行、横浜銀行等</p> <p>* 従来のリサイクルとは異なり、素材の原料化や再利用ではなく、元の製品よりも価値の高いものを生み出すことを目的とする資源循環のあり方。</p>	

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

2. 資源循環のしくみ

一例として、紙の代替として使われたLIMEX製品を破碎し、プラスチック代替製品の原料となるLIMEXペレットを製造、再成形してプラスチック代替製品をつくることができる。

素材の特徴を生かしたこの循環のしくみと併せて、資源を効率的に回収・アップサイクルするしくみの社会実装に向けて現在取り組みを進めている。すでに、事業社規模や地域規模での取り組みを実施している。

(事例1)株式会社セブン-イレブン・沖縄と連携して、沖縄県エリアでのセブン-イレブン各店の開店時に記念福袋として採用された「Bio LIMEX Bag」を回収・再資源化し、「LIMEXランチプレート」に再製品化、沖縄県内の児童養護施設に寄贈品として提供した。

(事例2)福井県鯖江市での、鯖江市、慶應義塾大学院メディアデザイン研究科との連携協定。SDGsへの貢献を目指し、LIMEXのアップサイクルを通じた地域モデルの構築を目指している。LIMEX製の印刷物を市内の郵便局に設置された回収BOXで回収、漆仕上げの食器などにアップサイクルしていく。

URL

1. 循環経済の実現に資する新素材

- LIMEX製ごみ袋の事例

https://tb-m.com/wp-content/uploads/2018/12/181211tbm_press_release.jp.pdf

- LIMEX製アメニティ用品の事例

https://tb-m.com/wp-content/uploads/2019/12/191219_tbm_press-release-1.pdf

2. 資源循環のしくみ

- Bio LIMEX Bag からLIMEXランチプレートへのアップサイクルの事例

https://tb-m.com/wp-content/uploads/2020/06/20200626_tbm_press-release.pdf

- 鯖江市、慶應義塾大学大学院と連携協定の事例

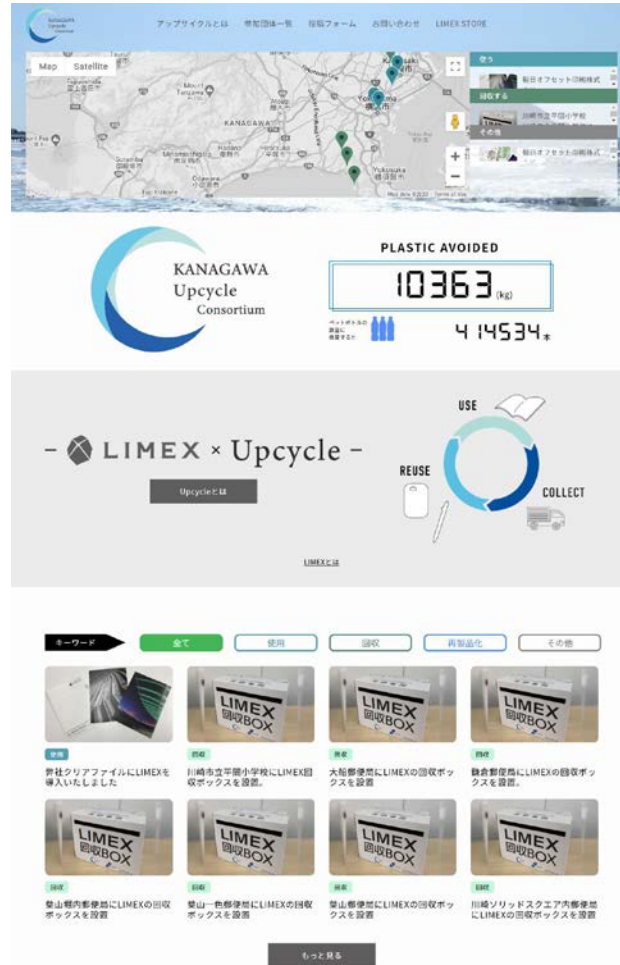
https://tb-m.com/wp-content/uploads/2018/08/180820_tbm_pressrelease_sabae.pdf

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	URL	<p>3. 自治体や地域住民との連携推進</p> <ul style="list-style-type: none">神奈川県葉山町、環境配慮型の素材活用に向けた包括連携協定を締結 https://tb-m.com/wp-content/uploads/2019/09/190930_tbm_press-release-1.pdf横浜市と循環型イノベーションに向けた連携協定を締結 https://tb-m.com/wp-content/uploads/2019/10/191010_tbm_press-release.pdfベガルタ仙台の「CSRパートナー」に認定 https://tb-m.com/wp-content/uploads/2019/10/191003_tbm_press-release.pdf
上記ソリューションを提供できる地域について	全国、神奈川県、福井県鯖江市	
自者の特徴	<p>自社の新素材LIMEXを用いて、地域での資源循環のしくみづくりの実現に取り組んでいる。弊社と神奈川県はアップサイクルのモデル実証事業の展開に向けて、神奈川県内の自治体・企業・団体をパートナーとする「かながわアップサイクルコンソーシアム」を2018年12月に設立した。コンソーシアムの推進に向けて事務局を設置し、神奈川県独自の循環型のまちづくりモデルを世界に先駆けて確立することを目指している。事務局では、LIMEXの「使う」「回収する」「つくる」の場所を掲載し、現状を「見える化」するウェブサイトを開設し、取り組みに賛同し参加する約50団体の神奈川県内の自治体、企業、社団法人、学校法人等と連携し、しくみの社会実装に取り組んでいる。</p> <p>取り組みに関するプレスリリース https://tb-m.com/wp-content/uploads/2018/12/181217_tbm_press-release.pdf</p>	

自者の特徴

かながわアップサイクルコンソーシアムのウェブサイト(下図:トップページ)

<https://upcycle-consortium.com/>



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

弊社の目指す資源循環の考え方に賛同し、地域で取り組んでいただけるパートナーをいかに増やし、継続して取り組んでいただけるかが今後の課題。